



あのときの常呂・写真館

VOL 65

(1977年)

昭和52年9月12日 常呂神社祭に踊り山車復活

▶この年の常呂神社祭典の概要を「広報ところ」10月号から抜粋して紹介します。

＊常呂神社の秋祭りが9月11日から始まり、12日の本祭りにはみこしが登場し、昭和34年以来18年ぶりに復活した「踊り山車（だし）」が祭りに華を添えました。

＊「踊り山車」は、常呂民謡同好会や藤間流常呂後援会、かき島太鼓が中心となってつくられ、町内を練り歩くと、沿道に集まった人々から拍手が湧きました。踊り山車は、ここ18年くらいも町民の前から姿を消していたもので、4トントラックに飾りつけをし、かき島太鼓と民謡同好会の人たちが演奏する「常呂音頭」に合わせて幼い踊り子たち約100人が踊りました。

▶「広報ところ」では、昭和34年以来の踊り山車の復活と紹介していますが、昭和35年の秋祭りの写真（次ページ）に「踊り山車」があるので、1年ずれている可能性があります。いずれにしても、久しぶりの踊り山車の復活に多くの人々が見物し、楽しんだことがうかがえます。





*前のページ：常呂駅前の交差点で踊っている子どもたち

*左：常呂神社を出発し、弁天の公営住宅付近のトラックの山車と踊り子たち
(トラックの上に、民謡同好会とかき島太鼓のメンバーが乗っていました)

右：常呂駅前の広場で踊っている子どもたち

*見物する人の多さに驚きます

下：同じ駅前広場のようす。
山車の飾りつけに華を感じます



▶昭和35年9月12日 常呂神社祭のみこしと踊り山車



*みこしを中心に、八の字に勢揃いした踊り子

*左側にある商店は、左から順に古川商店・網走信金・寺町金物店



*みこしの左側に見えるのは、当時の北見バス車庫（現在の常呂ハイヤー）



左：場所は不明
山車をバックに
踊っている子ども
たち



下：旧スーパー丸千
代の向かいにあ
った銀座ホール
（この頃はパチ
ンコ店）前の
子どもみこし